

平成25年9月17日（火）
国土交通省関東地方整備局

記者発表資料

関東地方整備局事業評価監視委員会（平成25年度第5回）の開催結果について

関東地方整備局では、平成25年9月13日に、公共事業の効率性及びその実施過程の透明性の一層の向上を図るため、事業評価監視委員会を開催しましたので、審議結果をお知らせします。

審議の結果、7件が対応方針（原案）のとおり了承されました。

なお、議事概要は、別紙のとおりです。

※配付資料については、関東地方整備局ホームページでご覧下さい。

関東地方整備局ホームページ(<http://www.ktr.mlit.go.jp/>) →募集・情報公開→公共事業の評価

URLダイレクト入力の場合 <http://www.ktr.mlit.go.jp/shihon/index00000018.html>

発表記者クラブ

竹芝記者クラブ、埼玉県政記者クラブ、神奈川建設記者会
茨城県政記者クラブ、千葉県政記者会、神奈川県政記者クラブ

問い合わせ先

国土交通省 関東地方整備局	TEL. 048-601-3151（代表） 048-600-1329（夜間直通）
地方事業評価管理官	<small>すぎざき みつよし</small> 杉崎 光義（内線2118）
企画部技術企画官	<small>おさない ひでお</small> 小山内 英雄（内線3126）

(別紙)

関東地方整備局事業評価監視委員会（平成25年度第5回）

議事概要

1. 日 時 平成25年9月13日（金）15:00～17:00
2. 場 所 さいたま新都心合同庁舎2号館 14階 「災害対策本部室」
3. 出席者

[委員長]

家田 仁（東京大学大学院工学系研究科社会基盤学専攻教授）

[委員]

荒木 時雄（東京商工会議所地域振興部長）

池邊 このみ（千葉大学大学院園芸学研究科教授）

大野 栄治（名城大学都市情報学部教授）

楓 千里（(株)JTBパブリッシング 執行役員ソリューション事業本部副本部長）

佐々木 淳（東京大学大学院新領域創成科学研究科教授）

清水 義彦（群馬大学理工学研究院教授）

堤 マサエ（山梨県立大学国際政策学部総合政策学科名誉教授）

若松 加寿江（関東学院大学理工学部教授）

（敬称略、五十音順）

[関東地方整備局]

副局長 池上、総務部長 青木、企画調整官 見坂、河川部長 泊、
道路部長 後藤、用地部長 河井 他

[中日本高速道路株式会社]

東京支社 建設事業部長 八木

[東日本高速道路株式会社]

関東支社 建設事業部長 松崎

4. 議事概要

(1) 挨拶

- ・ 関東地方整備局 副局長

(2) 審議

1) 再評価対象事業の概要説明

- ・ 関東地方整備局の道路事業 7 件の概要説明。

2) 審議

- ・ 事務局より説明された再評価対応方針（原案）は、7 件を対応方針（原案）のとおり、了承する。

(3) その他（報告）

- ・ ハツ場ダム建設事業について

<評価対象事業>

事業名	重点案件	事業箇所名	事業主体	対応方針 (原案)	審議結果
道路		一般国道 246 号 秦野 I C 関連	関東地方整備局	継続	対応方針（原案） のとおり了承
		一般国道 246 号 厚木秦野道路	関東地方整備局	継続	対応方針（原案） のとおり了承
	○	一般国道 468 号 首都圏中央連絡自動車道（横浜湘南道路）	関東地方整備局 東日本高速道路株式会社	継続	対応方針（原案） のとおり了承
	○	一般国道 468 号 首都圏中央連絡自動車道（茅ヶ崎～海老名）	関東地方整備局 中日本高速道路株式会社	継続	対応方針（原案） のとおり了承
	○	一般国道 468 号 首都圏中央連絡自動車道（川島～五霞）	関東地方整備局 東日本高速道路株式会社	継続	対応方針（原案） のとおり了承
	○	一般国道 468 号 首都圏中央連絡自動車道（大栄～横芝）	関東地方整備局 東日本高速道路株式会社	継続	対応方針（原案） のとおり了承
	○	一般国道 468 号 首都圏中央連絡自動車道（東金茂原道路）	関東地方整備局	継続	対応方針（原案） のとおり了承

○：特に重点的な審議を要する案件として選定された事業